

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2025年4月14日

事業ID:2024012779
事業名:ボランティアダイバーと子どもたちによる
水中と周辺水辺の清掃活動(CFB・海と日本2024)
団体名:特定非営利活動法人海未来
代表者名:代表者 氏名手島 裕之
TEL:06-6155-6373
事業完了日:2025年3月31日

■契約時

事業費総額	:	3,720,000 円
自己負担額	:	750,000 円
助成金額	:	2,970,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	3,795,939 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	825,939 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	2,970,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.水中及び水辺の清掃活動事業 (1)時期:2024年4月~2025年3月(計10回) (2)場所:大阪府、京都府、和歌山県、兵庫県、福井県の各海域 (3)参加者:250名(ダイバー 150名 一般100名) (4)内容:ボランティアでダイバーを広く募り、ダイバーしかできない投棄された海中ごみの回収と子供たちを含む一般のかたに周辺水辺の漂着ゴミの回収作業に参加

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1.水中及び水辺の清掃活動事業 (1)時期:2024年4月~2024年12月(計10回) (2)場所:大阪府、京都府、和歌山県、兵庫県、福井県の各海域 (3)参加者:255名(ダイバー 153名 一般102名) (4)内容:ボランティアでダイバーを広く募り、ダイバーしかできない投棄された海中ごみの回収と子供たちを含む一般のかたに作業に参加
--

(3)成功したこととその要因

海未来の活動が浸透してきたことにより、海や湖に投棄されたプラスチックごみや生活ごみの水中清掃活動に参加するダイバー、一般のかたとともに初参加の申し込みが増えた。また活動に参加しやすいよう募集案内を早めにしたり、内容を細かく記載することが結果につながった。

(4)失敗したこととその要因

天候により中止や予定地の変更を余儀なくされたことが多かった。水中活動は天候に影響を受けやすいのであらかじめ予備日を決めておくよう計画したい。
--

(5)事業内容詳細

別紙事業報告書のとおり

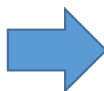
■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2.水中生物保護(サンゴ再生)活動事業
(1)時期:2024年4月~2025年12月(計6回)
(2)場所:和歌山県串本
(3)参加者:100名(ダイバー60名 一般30名)
(4)内容:ボランティアダイバーを広く募り、破片サンゴの設置(微弱電流によるサンゴ再生促進)と子供達や一般参加による水中生物保護の必要性を知っていただく

(2)事業内容の実施(完了)状況

2.水中生物保護(サンゴ再生)活動事業
(1)時期:2024年4月~2025年12月(計6回)
(2)場所:和歌山県串本
(3)参加者:74名(ダイバー61名 一般13名)
(4)内容:ボランティアダイバーを広く募り、破片サンゴの設置(微弱電流によるサンゴ再生促進)と子供達や一般参加による水中生物保護の必要性を知っていただく



(3)成功したこととその要因

事業実施により、減少傾向にあるサンゴの再生と自然保護の大切さを広めることができた。
ダイバー参加は予定を上回り活動の意味を幅広く告知できた

(4)失敗したこととその要因

天候による日程変更があり、特に一般のかたの参加が少なかった。事前に予備日を決めたり、早めの告知をする対策が必要と感じた

(5)事業内容詳細

別紙事業報告書のとおり

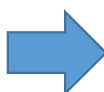
■事業内容3

(1)契約時の事業内容

環境保全活動の普及啓発事業
(1)時期:2024年6月~2024年7月(計3回)
(2)場所:大阪府、福井県
(3)参加者:7100名
(4)内容:活動内容の展示説明を通じて、ダイバーだけでなく子供たちを含む一般の方に積極的に参加してもらえるようにする

(2)事業内容の実施(完了)状況

3.環境保全活動の普及啓発事業
(1)時期:2023年5月~2023年12月(計4回)
(2)場所:大阪府、福井県
(3)参加者:8,929名
(4)内容:活動内容の展示説明を通じて、ダイバーだけでなく子供たちを含む一般の方に積極的に参加してもらえるようにする。



(3)成功したこととその要因

ダイビングイベントや無料セミナーに参加開催している水中環境保護活動団体が少ないため、ダイバーや一般のかたの関心を得る結果になり、新規参加者が大幅に増えた。

(4)失敗したこととその要因

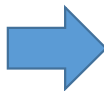
(5)事業内容詳細

別紙事業報告書のとおり

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

5か年計画の4年目として

- ・参加者数特に一般参加目標を達成する
- ・海、湖川地域の市町村のごみ収集作業目標数:10カ所、収集ごみ重量目標:2,500kg
- ・サンゴ再生促進と設置したサンゴの経過観察を行いHPやSNSで活動結果を公開する
- ・作業設置個所目標数:6カ所 設置サンゴ個数:80個

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	201	文字数チェック	OK
5か年計画の4年目として <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数特に一般参加目標を達成する ・海、湖川地域の市町村のごみ収集作業目標数:10カ所、収集ごみ重量目標:948kg ・参加者名簿を記載し保存する ・回収したごみを分別して種類ごとに個数と重さを計量しHPやSNSで活動結果を公開する。 ・サンゴ再生促進と設置したサンゴの経過観察を行いHPやSNSで活動結果を公開する ・作業設置個所目標数:6カ所 設置サンゴ個数:76個 			

3.事業実施によって得られた成果

ボランティアダイバー登録数が前年度221名から291名に大幅に増えた。企業団体などの寄付が前年度より約30%増加した。
また、ボランティアダイバーによる水中清掃活動を行う団体として認知度が深まってことで活動場所が拡がり、他の環境保護活動団体と連携して水中と陸上清掃の同時開催などが計画できるようになった。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

事業を継続して行うための資金を安定的に確保できる状況が作られていない。より多くの会員確保や企業、団体からの寄附や助成などで活動資金を増やして継続的に活動できる団体に育てる。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

・参加者名簿を記載し保存する
・回収したごみを分別して種類ごとに個数と重さを計量しHPやSNSで活動結果を公開する。
参加者名簿を記載し保存する
・設置したサンゴの経過観察写真撮影と定規による成長記録を残す
・NPO法人 海未来の公式ホームページに、活動報告(作業内容、作業中及び収集物の写真、参加者数、ごみ収集実績及びサンゴ設置実績等)を掲載する。
公式HP:<https://umimirai.or.jp>

(2)事業完了時の成果物名称

・NPO法人 海未来の公式ホームページに、活動報告(作業内容、作業中及び収集物の写真、参加者数、ごみ収集実績及びサンゴ設置実績等)を掲載しました。
活動内容、予定、結果を記載した小冊子「水中と水辺の環境保護活動2024」:
1,000冊
ポスター:10枚



(3)未作成となった要因

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<https://umimirai.or.jp/category/report/>